

レポート提出

- ▶ 電子メールの場合(強く推奨)
 - ◆ To: tarumi@isse.kuis.kyoto-u.ac.jp
 - cc: madoka@isse.kuis.kyoto-u.ac.jp
 - Subject: IS2-0508 [名前]
 - 本文の最初に、入学年度、学科/コース、氏名
 - ◆ プレーンテキスト、または添付ファイル
 - ◆ 添付ファイルは MS Word, Powerpoint なら可
- ▶ 紙の場合
 - ◆ A4 用紙に限る、提出先は331号室の封筒

第1回課題(5月8日、締切15日)

- ▶ 以下の課題について書きなさい
- ▶ Exercise は、教科書の演習問題がベースです。
- ▶ Exercise と書いていないものは、独自の出題です。
- ▶ 出題文だけでは情報が足りない場合、適当に状況を設定して回答すること。(仮定した状況を説明すること。)

課題1

- ▶ Exercise 1.3
以下のようなシステムを開発したい。適当なソフトウェア開発プロセスについて理由をつけて説明しなさい。
 - ◆ (a) 自動車に組み込みのABS (Anti-Lock Braking System)のソフトウェア
 - ◆ (b) バーチャルリアリティを用いた遠隔会議システムのソフトウェア
 - ◆ (c) 大学の経理システムで、以前からあるシステムをリプレースする場合。ハードウェアとOSに大きな変更はない。

課題2

- ▶ Exercise 1.7
ソフトウェアエンジニアを医者や弁護士と同じように国家資格にするべきかどうか、議論しなさい。(注、情報処理技術者試験等は資格試験ではありません。)

課題3

- ▶ Exercise 3.2
良いプログラマーが必ずしも良いソフトウェア開発管理者になるとは限らない。その理由を説明せよ。管理者の仕事内容(3章で説明した)を参考にせよ。

課題4

- ▶ Exercise 4.6
次の要求を、validate 可能なように書き換えなさい。
 - ◆ (a) そのソフトウェアシステムは、最大負荷がかかったときでも十分な処理能力を示さねばならない。
 - ◆ (b) そのシステムのユーザインタフェースは、標準的な端末で利用可能な文字コードセットを利用する。
 - ◆ (e) 今回の開発では、構造化プログラミング手法を用いる。